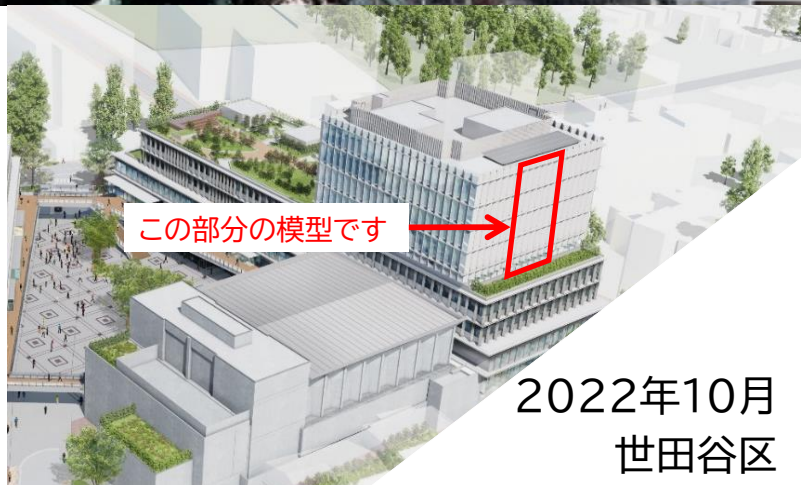




世田谷区

本庁舎等整備工事News <Vol. 7>

外壁の実物大模型(モックアップ)を設置しました



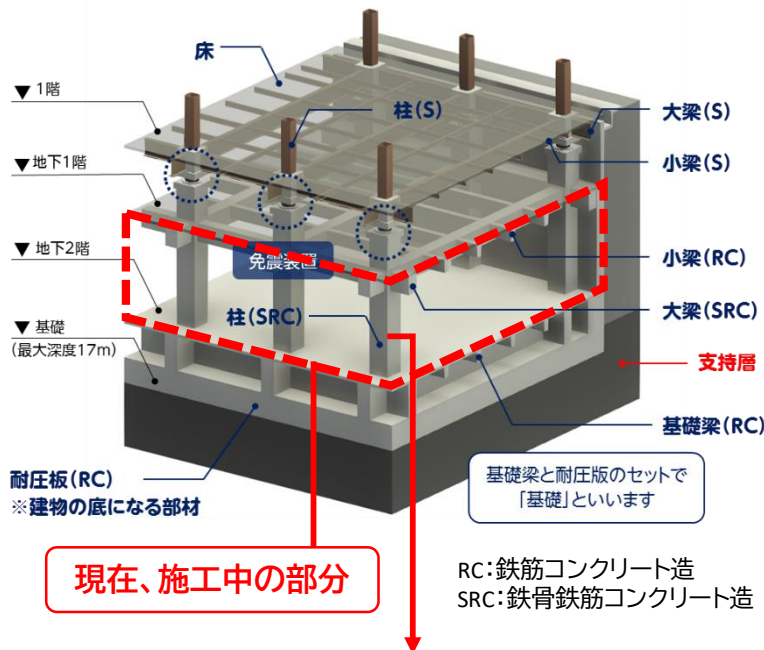
2022年10月
世田谷区
庁舎整備担当部
庁舎建設担当課

新庁舎東棟の上層部分の実物大模型を、工事エリア内に設置しました。
形状は、区民会館の折板状の外壁をモチーフとしています。
今後、この実物大模型を用いて、色・形状等の確認を行います。

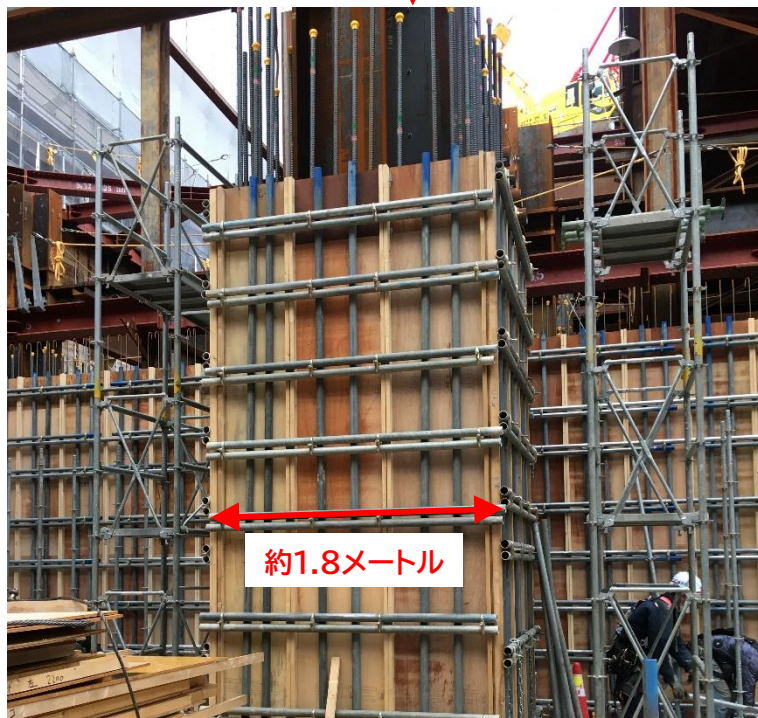
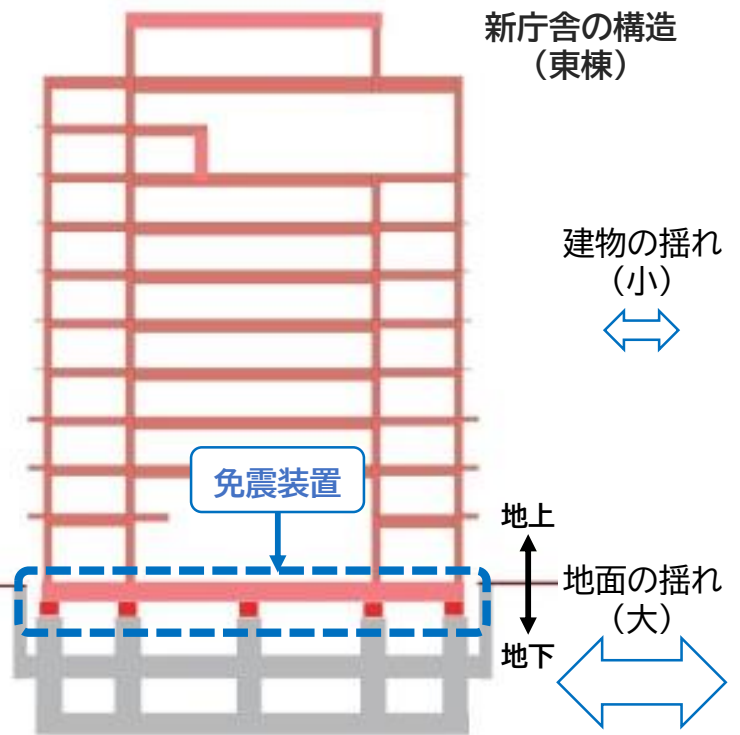
東棟

東棟では、地下2階の躯体工事が進行しています。地下2階の柱の幅は、約 1.8メートルあります。(下の写真)

新庁舎の構造(地下)



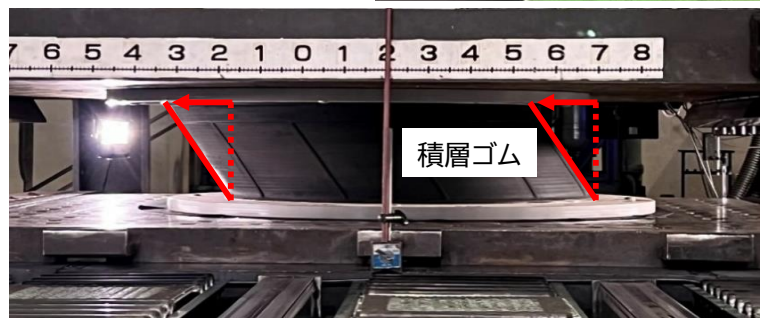
新庁舎では、免震構造を採用しています。免震構造は、地面と建物の間に免震装置を設置し、建物に伝わる揺れを低減する構造です。新庁舎では地下1階の柱の上部に免震装置を設置する「柱頭免震構造」を採用しています。下の写真は新庁舎で使用する免震装置です。



コンクリート打設後の柱の様子。コンクリート強度を確認し、型枠を取り外します。(右の写真)



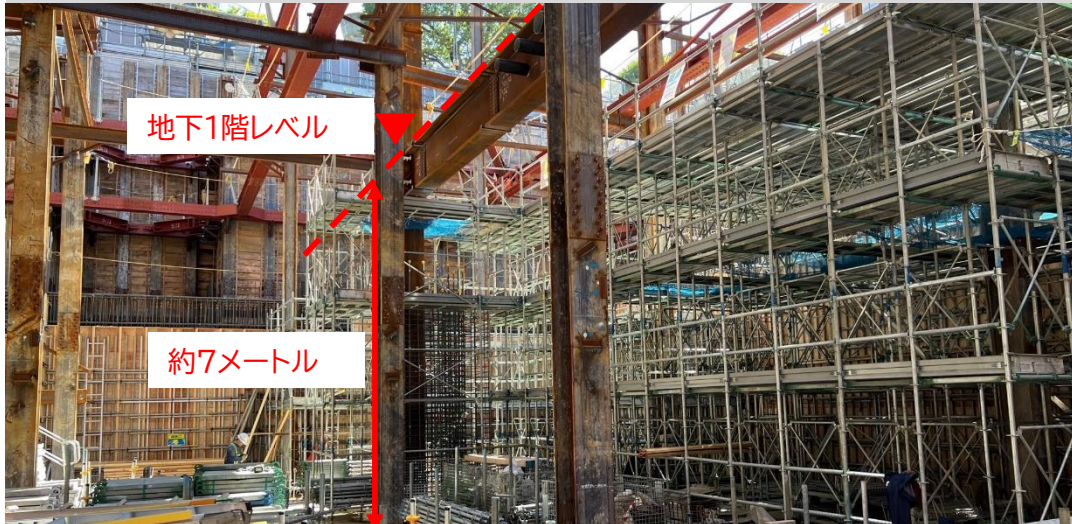
【免震装置2】→地震時に、すべり材が鋼板の上をすべることで、地震の揺れが直接建物に伝わらない。



免震装置は工場で1基ずつ可動実験を行います。上の写真は、免震装置1のゴムが変形し、上部が約20cm移動した状況です。大地震時には、約40cm程度の変形を想定しています。

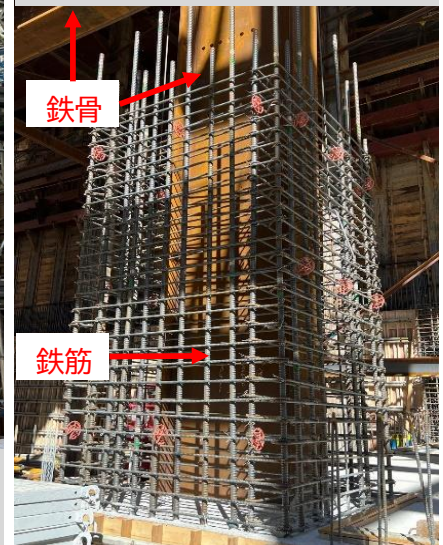
西棟

西棟では東棟と同様に、地下2階の躯体の構築を進めています。



地下2階は機械室となり、大型の機械等を設置するため、階高が約7メートルと他の階と比べて階高が高くなっています。(上の写真)

鉄骨の周りに鉄筋を組み、コンクリートを打設して柱を構築します。



区民会館

現在、区民会館では、建設当時の外観を復元するための補修作業や、区民会館ホール内に設置する、新たな壁・天井の改修作業等を行っています。区民会館ホール西側の楽屋棟では、基礎工事に着手しました。

補修前



補修後



区民会館ホールの外壁は、竣工当時の外観を復元するための補修を行っています。ひび割れ、色合い、凹凸などを職人の手作業で修復しています。



新しい舞台機構を支えるため、舞台内部に基礎を設置しています。



区民会館ホールは内部全面に足場を設置し、壁、天井の改修工事を行っています。

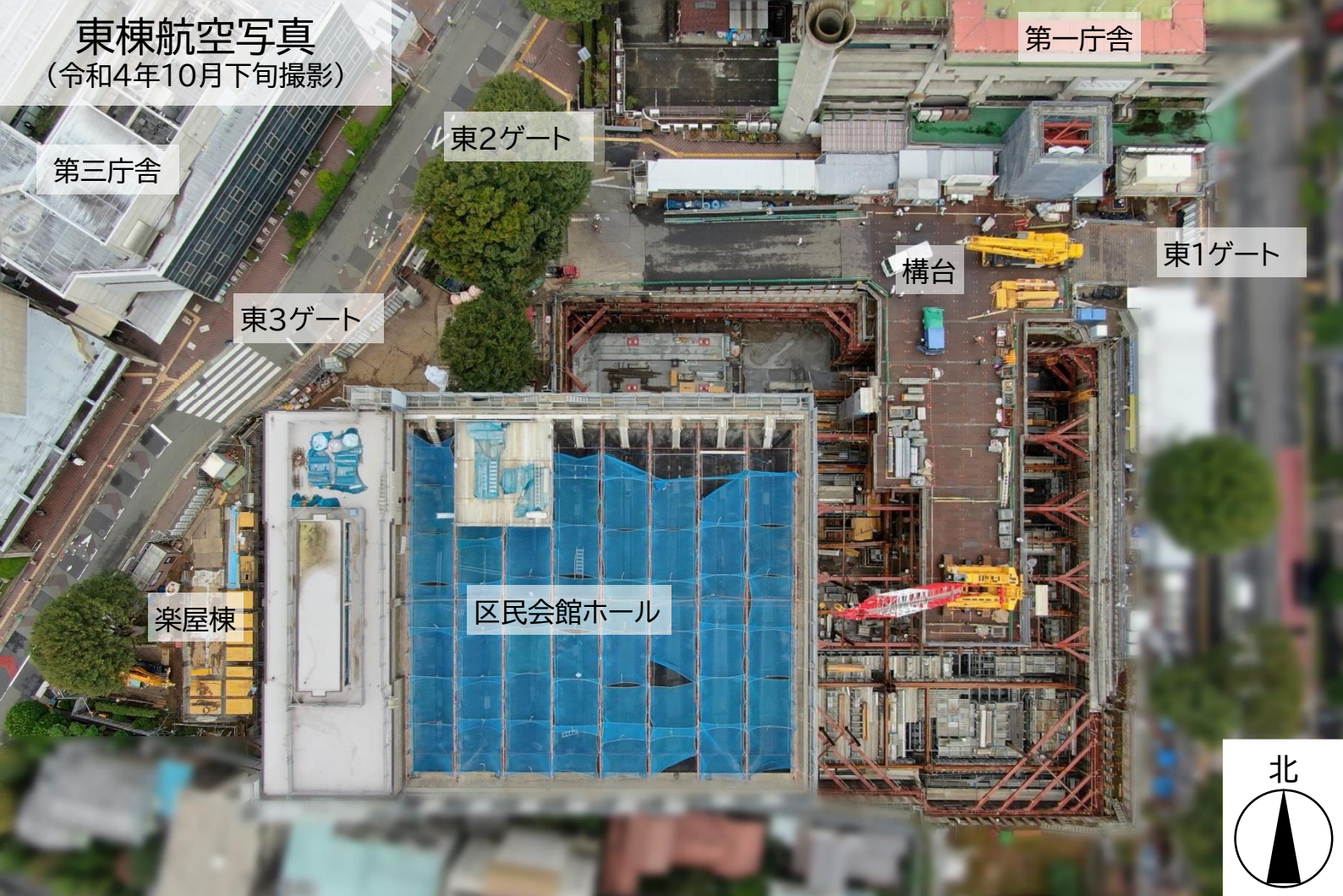


区民会館ホール
(舞台側)

楽屋棟

楽屋棟は、個人や大人数での利用を想定し、小・中・大の楽屋をそれぞれ2室ずつ、整備します。

東棟航空写真 (令和4年10月下旬撮影)



西棟航空写真 (令和4年10月下旬撮影)



作成 世田谷区庁舎整備担当部庁舎建設担当課
〒154-8504 東京都世田谷区世田谷四丁目21番27号
電話:03-5432-2986 FAX:03-5432-3006
協力 大成建設株式会社東京支店